# 第 283 回競技委員会議事録

1. 日　　時：2023 年 7 月 5 日（水）18 時 00 分～ 20 時 50 分
2. 会　　場：連盟本部事務局
3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 13、定足数 9、出席 13（内委任状 1）で成立。
寺本直志委員長、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、久富健史
吉田正、山後秀幸、仲村篤志、正村祐一
Zoom で出席：山田和彦競技会事業担当業務執行理事、石橋瑞己、浅越ことみ
委任状：林伸之
オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案　セクショナルディレクターの承認

安藤 紀子　188702　C-01113　千葉県
市橋 洋子　169802　C-00847　千葉県
村 千賀子　179926　C-01113　千葉県
推薦者　近藤 久子　90016　S-00093
稲葉 達哉　212032　C-01194　東京都
推薦者　赤間 馨介　163729　S-00148

第 2 号議案　WBF システムポリシーの改定について

WBF システムポリシー、WBF アラートポリシー、サイキックビディングガイドラインの更新があったため、その邦訳の提出があり内容を確認した。
マルチ 2D や Brown　Sticker に対するディフェンスサマリーが 50 語までに制限されたため、公開しているサンプルディフェンスについて見直しを検討する。
新規則は 2023 年度トライアル、2024 年前期日本リーグ及び 2024 年 5 月以降の競技会から適用することとした。

第 3 号議案　地域対抗選手権関東予選フライト B のボードのミスについて

事務局より、地域対抗選手権関東予選フライト B において組込が行われていないボードがプレイされた事案について説明があった。再発防止のため、組込をした最後のボードに所定のカードを挟み、ディレクターがチェックした際に抜き取る対策を開始したとの報告があった。

第 4 号議案　地域対抗選手権フライト B の MP 制限について

会員総会において地域対抗選手権フライト B の MP 制限を上げてはどうかという提案があり審議した。現在のフライト構成は 2009 年に変更したもので、2017 年にも再検討を行い地方における MP 分布などを確認し現状維持とした。2023 年おいても 1000 点を超える地方在住の会友は 100 人程度とフライト A のテーブル数を維持する観点からも、現状維持とすることとした。

第 5 号議案　写真と動画の撮影と使用について

競技会での写真・ビデオ撮影と使用について、HANDBOOK の文章の修正案の提出があり、こ

れを承認した。
事務局より、高松宮記念杯フライト A 準決勝・決勝において、BBO 中継に加えてプレイ映像を Youtube 中継する方向で検討しているという報告があった。

第 6 号議案　高田馬場ライフイーブンについて
高田馬場 BC より、5 月 1 日のライフマスターイーブンチャンスにおいて、正しくない組み合わせでチームが編成されて行われたことの報告があった。原因は高田馬場 BC が使用していた組み合わせソフトの操作不慣れであり、今後同様のことは起きないと報告があった。

第 7 号議案　イーブンチャンス・抽選ゲームの直前キャンセルについて
イーブンチャンスで特定のペアとチームメイトになりたくないことを理由に、会場にて他センターにエントリーした上でキャンセルするという事象の報告があった。イーブンチャンス・抽選チームでのチームメイトやペア戦のシングルエントリーした際のパートナーについては、希望通りにならなくてもやむを得ないことを前提にエントリーする必要があることを連盟公報及び HANDBOOK に記載することとした。

第 8 号議案　日本リーグ・クラブリーグの特別規定について
6 月 3 日の横浜リーグで、地方参加チームが大雨による新幹線及び在来線不通の影響で参加できなかったという事象があった。
チームの継続に支障が無いように新型コロナウイルスに対応するための特別規定を準用することをメール会議によって承認した。
また該当チームより、地方参加者が参加しやすくなるよう、クオリファイ条件の緩和や交通事情など不可避の場合への配慮について要望があり審議した。クラブリーグは 4 日間の日程を 3 日間に変更したためクオリファイが難しくなった点を考慮し、クオリファイ条件を 40%から 33%に緩和することとした。今回ように特別な状況においては特別規定を修正して残すことによって対応することとした。

第 9 号議案　予選通過ペア数に関して
予選・決勝があるペア戦について、決勝のテーブル数が少ない場合は関東予選の通過者数を調整して、決勝のテーブル数を総当たりができるテーブル数（4,5,7,9,13）に固定できるよう予選通過数を柔軟に調整できるよう変更すべきという提案があり審議した。その結果これを承認し、テーブル数が少ない場合においては予選通過者が 70%を超えられるように規則を変更することとした。

第 10 号議案 その他議案
・全日本地域対抗選手権関東予選において、フライトの参加チーム数が 2 または 3 の場合には 1 日で終了することとした。その場合、ディスクオリファイしたチームメンバーも代表の権利をもつこととした。
・藤山杯において、ラウンドが早く終わったプレイヤーが多数立ち歩いてるという問題の報告があった。特に 1 ラウンドのボード数が多いがラウンド毎で結果の出ない競技会においては、不必要に立ち歩かないようにディレクターにアナウンスを強化するよう指示することとした。

次回競技委員会は 2023 年 9 月 6 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。
次々回競技委員会は 2023 年 11 月 1 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以　上